

新年に気合一段と

剣道

試し切りお見事

越前市連盟が大会

越前市剣道連盟は3日、恒例の「新春奉納 試し切り大会」を市武道館で開いた。有段者らが演武や試し切りを披露し、ことし1年の精進を誓った。

連盟会員ら約100人が参加した。神事後、日本剣道形と全日本剣道連盟居合の昨年の昇段者が奉納演武を行い、見事な力さばきを見せた。

ことしで62回目となる試し切りには、山田昭榮会長や昇段者、来賓ら16人が挑戦。青竹の芯をわらで編んだ薙で包

んだ直径約15センチの「巻きわら」に向け、真剣を振り下ろした。

中には上半分が滑り落ちるような見事な一振りもあり、集まった人から大きな拍手が起こっていた。
初稽古も行われ、市内の小中学生、高校生らが早速、素振りや打ち込みなどに汗を流



巻きわらを見事に切り落とす剣士＝3日、越前市武道館

していた。

(大谷純平)

芸妓華やか舞

あわらで恒例催し

芦原温泉の芸妓による「新春舞踊」が2日、あわら市の「セントピアあわら」で開かれた。あでやかな着物の芸妓が華やかに踊り、約100人の観衆を楽しませた。

セントピアあわら恒例の新春企画で、芦原温泉芸妓協同組合のメンバーら7人が出演した。三味線に合わせて、長唄「鶴亀」や小唄「酒と女」など4演目を披露。金色の扇子や和傘などを持った優雅な舞で、新年の幕開けを祝った。そのほか、お座敷遊び体験や、